

【肢体不自由】

空知管内

北海道岩見沢高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 〒068-0014 岩見沢市東町2条8丁目960-3
 TEL 0126-23-5055
 FAX 0126-23-5130
 E-mail iwamizawakoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
 http://www.iwamizawakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp



■本校の概要

□ 学校教育目標

- 1 心身共に健康で、自ら鍛える生徒【基本】
- 2 知性を磨き、主体的に考え判断する生徒【知】
- 3 情操豊かで、相互に敬愛し合う生徒【情】
- 4 強固な意志を培い、目標達成に努める生徒【意】
- 5 自己実現を志向し、自立できる生徒【自立】

□ 校 訓

「自立」 「信愛」 「創造」

□ 概 要

本校は昭和56年に開校した肢体不自由のある高等部段階の生徒を対象とした特別支援学校です。本校は普通科と専門学科（工業科、商業科、生活科学科）を設置する学校です。肢体不自由のある生徒の特性等を踏まえ、高等学校に準ずる教育を行いながら、卒業後の自立と社会参加を目指し、生徒の社会的・職業的自立に向けた教育を行っています。また、寄宿舎では、社会生活に必要な力や社会性を育てるための生活指導や余暇活動等の充実に力を入れています。



■特色ある教育活動

肢体不自由のある生徒に対し、一人一人のニーズに対応した教育を行い、生徒が主体的に社会参加するため、生徒の社会的・職業的自立に向けて、確かな学力や生活する力を育てる。

【 普通科 】

高等学校に準ずる教科学習を通して、高校生としての学力を身に付けられるよう、一人一人の実態に応じた、習熟度別の学習グループを編成しています。

【 工業科 】

工業に関する基礎的・基本的な知識や、集中力やコミュニケーション能力の育成を目指し、ものづくり学習やコンピュータ学習、各種検定、資格取得に向けた学習に取り組んでいます。（計算技術検定、危険物取扱者資格など）

【 商業科 】

商業に関する基礎的・基本的な知識や技術、働く上での実践的な力の育成を目指し、「課題研究」やビジネスマナー、各種検定の取得に向けた学習に取り組んでいます。（簿記能力検定、情報技術検定、文書デザイン検定、ホームページ作成検定など）

【 生活科学科 】

家庭生活の各分野に関する基礎的な知識や技術の習得を目指し、被服実習、調理実習など様々な学習を行っています。実習では、障がいの状況に応じて用具や手法を工夫しています。基礎技術の定着、向上に向け、各種検定にも取り組んでいます。（全国高等学校家庭科技術検定、文書デザイン検定など）



普通科：数学（習熟度別授業）



学校祭：全学年生徒記念撮影



現場実習（2学年）



工業科：製図



商業科：実習販売



生活科学科：調理実習

■第1学年生徒の週時程表

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	化学基礎	家庭総合	芸術（音楽・美術・書道）
2	情報Ⅰ	地理総合	体育	家庭総合	芸術（音楽・美術・書道）
3	自立活動	公共	英語コミュニケーションⅠ	自立活動	英語コミュニケーションⅠ
4	化学基礎	数学Ⅰ	数学Ⅰ	現代の国語	数学Ⅰ
5	言語文化	体育	週ごとに指定	公共	保健
6	数学Ⅰ	現代の国語	LHR 総合・探究	英語コミュニケーションⅠ	言語文化

【 工業科・商業科・生活科学科 】

	月	火	水	木	金
1	化学基礎	公共	現代の国語	現代の国語	服飾手芸 工業技術基礎 情報処理
2	言語文化	英語コミュニケーションⅠ	体育	化学基礎	服飾手芸 工業技術基礎 情報処理
3	英語コミュニケーションⅠ	家庭基礎	ファッション造形 工業情報数理 簿記	フードデザイン 工業技術基礎 簿記	言語文化
4	数学Ⅰ	家庭基礎	ファッション造形 工業情報数理 簿記	フードデザイン 工業技術基礎 簿記	公共
5	生活産業情報 製図 ビジネス基礎	体育	週ごとに指定	英語コミュニケーションⅠ	保健
6	生活産業情報 製図 ビジネス基礎	自立活動	LHR 総合・探究	数学Ⅰ	数学Ⅰ

* 登校時間 8：15（月～金）／下校時間 15：45（月～金）

■教育課程の特徴

高等学校に準ずる教育課程を編成しています。授業では基礎的・基本的な内容を身に付けることを目指します。また、作品制作や実習などを通して達成感を味わい、将来の自立や進路選択に必要な力を育てることを重視しています。

自立活動では、特に健康管理や身体のケアを自分自身でできることを目指しています。毎朝行う「ストレッチタイム」は身体をケアする習慣付けを目的として実施しています。また、寄宿舎生活においても同様に取り組んでいます。

□ 資格取得に向けた取組

資格取得は、将来の進学・就職後に役立つだけでなく、大きな自信となり、日々の主体的な学びや次の目標に対する励みにもなります。資格取得に向け、授業や放課後活動などで積極的に取り組んでいます。

□ 進路指導と職業教育

系統的な学習となるよう、第1学年は校内実習、第2学年は職場体験、第3学年は卒業後の就労を前提とした実習を行っています。

また、第1学年から外部講師を招いた授業や職業相談などを行い、進路に対する意識を高める取組を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 就職 10名 【クラウドワークス、日軽北海道株式会社 など】
- 福祉施設利用7名（就労継続支援B型6名、生活介護1名）
【ワークサポートふれあい、創生もえぎもこもこ、とーもす北広島 など】
- 進学5名【北海道情報大学、札幌商工会議所付属専門学校 など】

学校Webページ



石狩管内

北海道真駒内養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住所 〒005-0011 札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号
- 問合せ先 TEL 011-581-0064
FAX 011-581-1892
E-mail makomanai@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.makomanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

- 学校教育目標
「人とのつながりを大切にし、
自分の考えを持ち、自分の考えを伝え、
自分の考えをもとに行動できる人を育てる」

- 概要
本校は昭和36年に開校した肢体不自由のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。小学部、中学部、高等部を設置し、肢体に障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえながら、学習しています。高等部では、卒業後の自立と社会参加を目指し、「社会生活に役立つ力」を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、生活経験の拡大を目指し、たくましく生きていく力を養うことを目指しています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

一人一人の生徒の自立と社会参加に向けて、卒業後の社会生活に役立つ力を身に付けるとともに、主体的に判断し、活動できる生徒を育てます。

【 学校行事の充実 】

体育大会、高等部祭を通して、今を大切に、そして卒業後に生きる力を獲得できるよう学習に取り組めます。

【 実践的、体験的な学習活動 】

「校外学習・生活体験実習」など体験的な学習活動を通して、地域での経験を広げ、様々な人との関わりの中で自分のできることを増やす学習に取り組めます。

作業学習では、体験的な学習を通して卒業後の自立的な生活に必要な知識や技能、態度を身に付けることができる学習に取り組めます。学習内容を整理し、学年を越えて編制したグループで学習に取り組めます。

【 地域と連携した授業づくり 】

行事や日々の学習において、外部専門家や地域の方をゲストティーチャーとして活用するなどし、魅力ある豊かな学習に取り組めます。



生活体験実習



生活単元学習：
フラワースマイル作戦



体育大会：フロアカーリング



作業学習：製品作り（ミシン）



校外学習



高等部祭：喫茶（接客）

■第1学年生徒の週時程表

【知的代替の教育課程】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の身支度・係活動・朝の会）				
2	自立活動				
3	音楽/ 作業/ 保体	生単 ／ 総合	作業/ 保体/ 音楽	理科 ／ 社会	保体/ 音楽/ 作業
4					
5	LHR	美術 ／ 作業学習	数学 ／ 生単	国語	LHR
6					

【自立活動を中心とした教育課程の例】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の身支度・係活動・朝の会）				
2	自立活動				
3	音楽/ 作業/ 保体	生単 ／ 総合	作業/ 保体/ 音楽	理科 ／ 社会	保体/ 音楽/ 作業
4					
5	LHR	美術 ／ 作業学習	自立活動	自立活動	LHR
6					

※生単は「生活単元学習」、総合は「総合的な探究の時間」

*登校時間 8:55～9:05（月～金）

*下校時間 14:05（月・金）／15:05（火～木）

■教育課程の特徴

知的代替の教育課程、自立活動を中心とした教育課程を編成しています。

教科の学習では、国語、数学、理科、社会などの学習を行います。

生活単元学習や作業学習では、教科の学習内容を関連付けた実践的、体験的な学習を行います。

総合的な探究の時間や自立活動等では、生徒が卒業後の社会生活に役立つ力を身に付けるための学習を行っています。

□ 自立活動

自立活動を時間割に位置付け、自立活動教諭と連携を図りながら指導しています。

□ 生活単元学習

学年全体で行う学習では、生活に関連した題材を通して、自分自身の生活を広げることができるよう学習しています。

□ 交流

近隣の地域団体や学校と一緒に、学校や地域の花の定植に取り組みながら、交流活動を行います。また、地域の高校生とパラスポーツを通じて交流するなど、多くの人と積極的に関わる機会を設けています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□ 福祉的就労～10名【生活介護 10名】

学校Webページ



石狩管内

北海道手稲養護学校

寄宿舍：無

スクールバス：無

※ 原則として北海道立子ども総合医療・療育センターに入院・入所の方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0033 札幌市手稲区稲穂3条7丁目6番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-682-1722
FAX 011-682-1926
E-mail teineyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.teineyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「幼児児童生徒の学習や身体状況に応じた教育を行い、一人一人の能力を伸ばすとともに、社会の一員として参加することを支援し、心豊かに自立した生活をする人間を育てる」

□ 具体目標

「たくましく生き抜く子ども」「明るく協力する子ども」
「自ら考え進んで学習する子ども」

□ 概 要

本校は昭和28年に北海道整肢学院に開設された琴似町立琴似小・中学校分教室からスタートした肢体不自由と病弱の生徒を対象とした特別支援学校です。在籍する生徒は、隣接する北海道子ども総合医療・療育センターに入院、入所しながら通学し、学習しています。

生徒の生活、学習上の実態等を踏まえ、一人一人の心身の状況に応じた教育課程を編成し、卒業後の自立と社会参加を目指し、「心豊かに自立した生活をする人間を育てる」ことを目指した教育を行っています。



■特色ある教育活動

生徒の学習や身体状況及び一人一人の発達の段階に応じた教育を行い、自ら自分の将来を考え社会の一員として参加することを支援する。また、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等やその他の能力の育成に努め、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養い、心豊かに自立した生活をする人間を育てる。

□ めざす生徒像

「たくましく生きぬく生徒」「個性豊かに思いやりのある生徒」「自ら学び仲間と高めあう生徒」

北海道立子ども総合医療・療育センターと連携し、人間としての在り方、生き方に関する教育を、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動及び自立活動において行っています。生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を培う学習活動に取り組んでいます。

【 多様なニーズに応える各教科・科目の履修 】

北海道立子ども総合医療・療育センターへの入退院、入退所により、転入・転学となる生徒が多く、継続した学習を保障するために、指導内容を適切に選択し、履修できるようにしています。

【 地域との交流 】

総合的な探究の時間では、札幌稲穂高等支援学校や三角山分校との交流を行っています。そこでは、コミュニケーション能力を高め、主体的に行動する力や意欲を育てる活動を行っています。



英語



札幌稲穂高等支援学校との交流



見学旅行



運動会



文化祭



職業

■第1学年生徒の週時程表

【 肢体不自由（重複） 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	体育	職業	数学	自立活動	音楽
3	英語	職業	国語	職業	職業
4	自立活動	数学	音楽	職業	職業
5	生活単元学習	総合的な探究の時間	生活単元学習	国語	生活単元学習
6				体育	LHR

【 病弱（普通） 】

	月	火	水	木	金
1	産業社会	数学Ⅰ	化学基礎	英語 コミュニケーションⅠ	言語文化
2	体育	現代の国語	美術Ⅰ	保健	現代の国語
3	数学Ⅰ	公共	自立活動	化学基礎	数学A
4	家庭基礎	化学基礎	論理表現	数学Ⅰ	音楽Ⅰ
5	公共	英語 コミュニケーションⅠ	総合的な探究の時間	論理表現	化学基礎
6	言語文化	数学Ⅰ	総合的な探究の時間	体育	LHR

■教育課程の特徴

肢体不自由のある生徒と病弱の生徒に対して、一人一人の実態に応じて4つのコースを編成しています。主に①高等学校に準ずる各教科等の指導中心、②下学年・下学部の各教科等の指導中心、③各教科等の内容を合わせた指導である生活単元学習などの指導中心、④自立活動の指導中心となります。

- 生活単元学習
社会参加に向けた「生きる力」を育成することを目指し、生活を送る上で必要とされる様々な事柄を体験的・実地的に学習しています。
- 職業
進路学習と関連付けて、働くことを体験的・実践的に学習しています。縫製や紙すきなどの作業、製品の販売活動を行っています。
- 総合的な探究の時間
自ら課題について学び考え、主体的に判断し、よりよく課題解決する資質や能力を育てることを目標にしています。交流学习や校外学習、学部レクリエーションなどをテーマに学習しています。
- 自立活動の指導
生徒の実態に応じて、週1～4時間自立活動の指導をしています。各教科等で扱う内容を6区分に照らし合わせ、一人一人が学校生活全体を円滑に送れるように自立活動教諭と連携し指導しています。

* 登校時間 8:45（月～金）
* 下校時間14:50（月～金）

■卒業後の主な進路先について（令和7年度卒業生なしのため令和6年度実績）

- 生活介護事業所～2名

学校Webページ



石狩管内

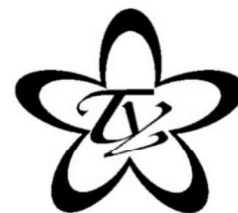
北海道拓北養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒002-8091 札幌市北区南あいの里3丁目1番10号
- 問 合 せ 先 TEL 011-775-2453
FAX 011-775-2455
E-mail takuhokuyougo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.takuhokuyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「豊かに、たくましく、自分らしく」未来を拓く子の育成
～しなやかに育つ拓北の子～

□ 校 訓

「共感・共有・共育」

□ 概 要

本校は平成12年4月に開校した肢体不自由のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。

全校児童生徒119名（令和8年4月現在）のうち、高等部には21名が在籍しています。生徒一人一人の人格と主体性を尊重し、教育的ニーズや障がいの状態に応じた指導の充実に努めています。また、事業所での現場実習や体験的な活動など、一人一人の生徒が自分らしく卒業後の生活を送ることができるよう、日々の学習や進路支援に取り組んでいます。

寄宿舎では、現在、高等部生徒の利用はありませんが（令和4年度利用実績：3名）、札幌市外の生徒2名が在籍し、生活の質の向上を目指して個々のニーズに合わせた指導・支援に努めています。興味関心を広げ自分を表現する力や人とかわる力、生活を楽しむ力を育むために、様々な体験活動に取り組んでいます。



校舎全景



児童生徒玄関

■特色ある教育活動

高等部教育目標

- 1 自ら学び、心豊かに生活できる生徒
- 2 考えを伝え、受け止め、深め合える生徒
- 3 健やかな心と体で、自分も相手も大切にできる生徒

【 指導の形態と学習形態 】

各教科・科目は、「知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等」に替えて指導しています。また、生徒の学習状況等を把握し、学習グループを構成しています。

Aグループ

自立活動の時間が多く設定され、各教科は主に知的代替小学部段階の内容を学びます。また、下記以外の教科等を自立活動に替えて教科学習の基礎となる認知や身体の動き、コミュニケーションを中心に学習します。

（国語、音楽、美術、保健体育、職業、自立活動、総合的な探究の時間、特別活動）

B・Cグループ

Aグループより各教科の時間が多く、主に知的代替小学部～中学部段階の内容（Bグループ）、中学部～高等部段階の内容や、関連する小・中学校の一部の内容（Cグループ）を学びます。新しい知識に加え、学んだ知識を生活に生かす学習を行います。

（国語、社会、数学、理科、外国語、音楽、美術、保健体育、職業、自立活動、総合的な探究の時間、特別活動）

【 進路学習、交流及び共同学習について 】

総合的な探究の時間において、卒業後の進路を考える機会として福祉事業所などでの活動を体験したり（現場実習）、近隣の高等学校との交流及び共同学習も行ったりしています。



国語：物語



保健体育：陸上記録会



職業：販売会



総合的な探究の時間：卒業生講話



特別活動：高等部祭（野球ブース）



自立活動：腹臥位のストレッチ

■第1学年生徒の週時程表

【 Aグループの時間割 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	職業	国語	美術	保健体育	国語
3	職業	自立活動	美術	自立活動	自立活動
4	自立活動				
	自立活動（給食を含む）				
5	自立活動	総合的な探究の時間		音楽	特別活動
6		自立活動			

【 B・Cグループの時間割 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	国語	国語	保健体育	数学	職業
3	自立活動	自立活動	保健体育	自立活動	職業
4	社会	外国語（英語）	理科	音楽	国語
	自立活動（給食を含む）				
5	数学	総合的な探究の時間		美術	特別活動
6		数学			

■教育課程の特徴

各教科、自立活動、総合的な探究の時間及び特別活動で教育課程を編成しています。

Aグループは自立活動が、B・Cグループは各教科が多く設定された時間割になっています。学習状況や実態にも考慮し、一人一人の学びがより充実するようにグループ編成を工夫しています。例えば、保健体育、職業、美術は3学年合同で、国語や数学は学習状況に応じてなど、教科によっては学級、学年の枠を超えてグループを編成しています。

特別活動はホームルーム活動、生徒会・委員会活動、学校行事などがあります。生徒会・委員会活動は学年の枠を超え、普段の学習とは異なるグループの生徒同士と一緒に活動できるようにしています。拓養祭（高等部祭）では、ゲームや音楽発表などの企画に、各学年の生徒が協力し合いながら取り組んでいます。

□自立活動の指導

毎日1時間目に自立活動の時間を設定し、一人一人の身体の状態に合わせ「健康の保持」、「身体の動き」などについて取り組んでいます。

Aグループは、自立活動の時間が多く設定されていますが、例えば数学に関連する内容を自立活動の「環境の把握」を通して学習するなど、各教科とも関連させながら取り組んでいます。B・Cグループも自立活動の指導で学んだことを、各教科の学習に生かしながら取り組んでいます。

生活の様々な場面の中で、上記項目以外にも「コミュニケーション」など、自立活動の各項目を意識しながら活動しています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□ 就労継続支援B型 / 生活介護事業所 ～ 11名
【札幌市内の生活介護事業所など】

学校Webページ



渡島管内

北海道函館養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒042-0916 函館市旭岡町2番地
- 問 合 せ 先 TEL 0138-50-3311
FAX 0138-50-3312
E-mail hakodateyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakodateyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「子ども一人一人のもっているよさや個性を 発揮できるようにし
心豊かに たくましく 社会で共に生きる力を育てる」

□ 概 要

本校は、昭和54年に開校した肢体不自由のある児童及び生徒を教育する特別支援学校です。平成3年に高等部が開設され、平成10年からは高等部でも訪問教育を行っています。

現在1～3学年で計14名の生徒が在籍し、一人一人の障がいの状態や特性、教育的ニーズに応じた指導について、適切に取り組みられるよう単元計画を作成し、授業の実施と評価、改善に努めています。また、生徒のよさや個性を生かす教育を目指しており、自ら感じ考え表現できる力の育成を図っています。

函館市外に在住する児童生徒のために寄宿舎が設置されており、生活経験の伸長とともに、将来の自立に向けた生活動作や集団における力の育成を目指しています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

「一人一人のよさや個性を生かし、自ら感じ、考え、表現できる力を育てる」

【 合理的配慮に基づいた指導 】

個別の教育支援計画で示されている本人や保護者の願い、また、将来の職業生活を見据えた長期的な支援目標を基に、生徒と保護者と教師が互いの人権や尊厳に配慮した共感的な視点で日々の指導、実践に取り組んでいます。

各教科の指導では、教科のねらいや観点を明確にし、生徒一人一人の学びの履歴や連続性、学習状況をおさえた指導に努めています。また、各教科を合わせた指導では、生徒の生活に基づいたまとまりの中で、自然に学びの楽しさを感じ、学習意欲の高まりや分かる授業、合理的配慮に基づいた指導の充実に努めています。

【 地域資源を活用した体験的な学習 】

人とかかわる力を実践的に身に付けることができるよう、地域資源（人材、施設、情報等）を活用した体験的な学習の推進に取り組んでいます。公共交通機関の活用や買い物などの校外学習、地域の高等学校の生徒との交流及び共同学習、各種福祉事業所の見学や産業現場等における実習のほか、地域ボランティアの活用やALTを招いた学習を行っています。

【 医療的ケアを必要とする生徒の状況 】

現在、5名の生徒について、医師、保護者、看護師と連携を図りながら医療的ケアを行っています。



作業学習：陶芸



生活単元学習：和紙を使った作品



保健体育：水泳



音楽：器楽



自立活動



出前授業：メグミルク

■第1学年生徒の週時程表

【 I 型 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	作業 学習	生活単 元学習	自立 活動	生活単 元学習	音楽
3					
4	自立活動/日常生活の指導				
5	生活単 元学習	自立 活動 クラブ	生活単 元学習	保健 体育	HR
6					

【 II 型 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/国語・数学				
2	作業 学習	生活単 元学習	作業 学習	生活単 元学習	音楽
3					
4	自立活動/日常生活の指導				
5	生活単 元学習	自立 活動 クラブ	生活単 元学習	保健 体育	HR
6					

※「総合的な探究の時間」は、任意の期間で実施する。

* 登校時間 9：10（月～金）

* 下校時間 15：10（月・火・木）／14：25（水・金）

■教育課程の特徴

国語、数学、音楽、保健体育の教科別指導と日常生活の指導、生活単元学習、作業学習といった各教科等を合わせた指導、自立活動等を学習の基として時間割を編成しています。また、「なぜ、その学習に取り組むのか」「その学習から何を学ぶのか」「その学びを、将来どのように生かせるのか」を考え、単元計画を立案し、授業の実施と評価、改善に努め、学びの履歴を積み上げる取組に努めています。

□ 自立活動の指導

自立活動の時間における指導を設定し、自立活動教諭や医療機関、訓練機関と連携を図りながら、生徒の障がいの状況に応じた学習活動の充実に努めています。

□ 総合的な探究の時間

産業現場等における実習の取組として、2～3学年で体験実習を行っています。実習先に応じて違いはありますが、2～10日間程度の実習を実施しています。

近隣地域の高等学校と、交流及び共同学習を行っています。障がいの有無に関わらず、同年代の仲間と関わることができる貴重な体験の機会となっています。

□ 特別活動

全校的な行事として、授業で学んだ運動競技や演舞（ダンス）等を発表する体育大会やあさひ祭（高等部祭）を行っています。あさひ祭では、各学習グループで企画した催事やステージ発表をします。また、作業学習で制作した商品の販売も行っています。

週1回のHR（ホームルーム活動）と月1回程度で全校集会を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□福祉事業所の利用
生活介護：1名

学校Webページ



上川管内

北海道旭川養護学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※原則として、北海道立旭川子ども総合療育センターに入所している方が対象です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒071-8142 旭川市春光台2条1丁目1-8
- 問 合 せ 先 TEL 0166-51-6507
FAX 0166-51-6507
E-mail sns-ky@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.asahikawayougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 校 訓 「健康」「明智」「努力」
- 学校教育目標 「安心・安全な教育環境のもと、生活にいきる力を育む」
- 概 要

本校は北海道立旭川肢体不自由児総合療育センターに併設する学校として昭和39年に開校しました。

高等部は平成9年に設置され、北海道立旭川子ども総合療育センターに入院している生徒や、家庭で生活しながら総合療育センターに通院している生徒、障がいの状態等により通学が困難なため訪問教育を受けている生徒（北海道療育園及び自宅）が在籍している学校です。



本校高等部には、普通科（重複障害学級）6学級16名、訪問教育学級7学級21名の生徒が在籍しています。重複障害学級に在籍する生徒の6割程度が特別通院・通学生であり、訪問教育学級在籍生徒には、中学部第3学年時に学齢超過者として編入した生徒も含まれます。北海道立旭川子ども総合療育センターに入院、北海道療育園に入所する生徒の出身地は、道内広範囲にわたっています。

■特色ある教育活動

【高等部教育目標】

- ① 自ら考え、判断し、行動する力を育む。
- ② コミュニケーションの力とともに社会とつながる力を育む。
- ③ 生活の質を高めるため、健康の維持や増進、経験の拡充を図る。

【 交流及び共同学習 】

総合的な探究の時間の一貫として、旭川市内の大学生と交流学習を行っています。同年代の触れ合いの中から生徒の経験を広め積極的に他者と関わる態度を養い、社会性や豊かな人間性を育みます。

【 生活体験実習 】

卒業後の生活に向けて福祉事業所等と連携し、事業所の活動や生活を体験します。生徒一人一人が目標を設定し、第1学年から段階的・計画的に実習を行います。

【 訪問教育学級登校学習 】

学校行事（運動会など）のほかに、年2回訪問教育学級の生徒が学校に登校して集団で学習します。体育館で大型遊具等を活用して学習を行います。また実態に応じて個別にスクーリングも行います。

【 ICT機器を活用した学習 】

タブレット端末などを活用して、生徒が自分の意志を表出したり、学習内容を学んだりしています。市内の福祉施設とつないで学習や実習を行うこともあります。



職業／家庭



○△□でデザインしよう（美術）



クリスマスコンサート



磁石のはたらき（理科）



新入生歓迎会



遠足

■第1学年生徒の週時程表

【重複障害学級 第1学年 A さんの例】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	体育	音楽	職業／家庭	国語	理科／社会
3		数学		美術	
4	自立活動	総合的な探究の時間	自立活動		音楽
5	国語	LHR	道徳	リハビリ	自立活動
6	自立活動	自立活動		数学	英語

*登校時間 8:40

*下校時間 14:45（月・火・木・金）／13:50（水）

【訪問教育学級 2組 2学年Bさんの例（北海道療育園）】

	月	火	水	木	金
1	集団学習	集団学習	登校学習	集団学習	集団学習
2					
3	個別学習			個別学習	
4					

<北海道療育園>（週あたり6回）

1校時 9:40～10:40

2校時 10:55～11:55

3校時 13:15～14:15

4校時 14:30～15:30

<在宅>（午前または午後のいずれかで、週あたり3回）

午前 9:30～11:30

午後 13:20～15:20

■教育課程の特徴

「個に応じられる教育課程」を編成しています。編成に当たっては、個別の指導計画を作成し、一人一人の各教科等の実態から、「なにを」「どこで」「どのように」学習するかを明らかにしています。

北海道立旭川子ども総合療育センターや北海道療育園等の関係機関と日常的な情報交換を行いながら、生徒一人一人が安心、安全に学習活動ができるよう、障がいの状態や発達の段階を踏まえ、個に応じた教育を行います。

各教科、道徳、特別活動のほか、卒業後の生活につながる学習活動を行います。また、学校内外の専門スタッフと相談しながら、障がいの状態に応じた教材教具を用いるとともに、ICT機器などを活用し、学習の効果を高めます。

□ 自立活動の指導

年間指導計画を作成し、療育センターリハビリテーション課や自立活動教諭の助言を受けながら、日常生活に必要な身体の動きを改善したり、コミュニケーション能力を高めたりする学習活動を行います。

□ 教科の学習

学習指導要領に示されている目標と内容を踏まえ、生徒の実態に応じて指導します。卒業後の生活に生かすことができるよう、体験的な学習活動を多く取り入れています。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- 福祉的就労～3名【生活介護3名】
- その他～17名【施設入所、入院など】

学校Webページ



オホーツク管内	北海道網走養護学校	寄宿舍：有 スクールバス：無
---------	------------------	-------------------

■学校の基本情報

- 住所 〒099-2421 網走市字呼人149番地2
- 問合せ先 TEL 0152-48-2235
FAX 0152-48-2137
E-mail abashiriyougo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.abashiriyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「地域で自分らしく生きる人を育てる」

- 校訓
「明るく」「元気に」「呼人で学ぶ」

- 概要
本校は昭和49年4月に開校した肢体不自由特別支援学校であり、今年度で開校53年を迎えます。重複の障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域社会において家族や仲間、支援者と共に生活していけるよう、自ら学ぶ意欲を養い、自ら生活を豊かにしようとする態度や知識、生活習慣を育成することを目指した教育を行っています。
本校には、医療機関等を訪問して行う訪問教育学級にも生徒が在籍しています。
寄宿舍では、集団の中で互いに協調・協力し合う精神の育成に努めるとともに、基本的な生活習慣の定着を図っています。



■特色ある教育活動

- ア 自己選択、自己決定、自己調整することができる生徒を育成する【知】
- イ 自分の気持ちを表現し、適切な方法で相手に伝えることができる生徒を育成する【徳】
- ウ 社会的な自立をするために、基本的な生活習慣の定着と体力の向上に取り組むことができる生徒を育成する【体】
- エ 自己理解を深め、社会人としての適切な態度や主体性を身に付けることができる生徒を育成する【知、徳】
- オ 地域社会資源を結び、自分ができることを自分ができる方法で取り組むことができる生徒を育成する【自活】

【 職業 】
時期に応じた作業種目において総合的に学習することで、働く意欲を高め、将来の職業、生活などの社会的自立を目指すとともに生活する力を身に付けます。

【 社会 】
社会生活の中で起こる諸課題について、地域や社会とのつながりや決まりがあることを知ったり、日常の事象が日常生活や社会生活に関わることを知り、それらを合わせて体験的に学んだり、交流したりして実際の、総合的に学習をします。

【 総合的な探究の時間 】
学校近郊施設への校外学習、公共交通機関の利用、ALT交流、現場実習、進路学習などの様々な場を通して、生徒が主体的に探究を行います。また、様々な考え方を知り、自ら考え、選択し、自己決定する力を養います。



職業：販売活動の様子



職業：枝豆の袋詰め



人形劇芸術鑑賞



総合：呼人町の地域清掃



音楽：器楽で鳴らそう



ALT交流学習

■第1学年生徒の週時程表

【パターン①②】					
	月	火	水	木	金
1	家庭科/ホームルーム (SHR)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
3	国語/数学	理科	国語/数学	社会	国語/数学
	職業		職業		職業
	自立活動	国語	自立活動	国語	自立活動
4	国語/数学	自立活動	国語/数学	自立活動	国語/数学
	職業		職業		職業
5	道徳	美術	保健体育	総合的な探究の時間	保健体育 国語/数学
6		音楽		特別活動 (LHR)	

【パターン③】					
	月	火	水	木	金
1	家庭科/ホームルーム (SHR)				
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
3	国語/数学	社会/理科	家庭科	理科/社会	数学/国語
4	自立活動	数学/国語	職業	国語/数学	自立活動
5	道徳	美術	保健体育	総合的な探究の時間	音楽
6	外国語	情報		特別活動 (LHR)	

■教育課程の特徴

個別の教育支援計画、個別の指導計画に示された生徒一人一人の教育的ニーズに応じて時間割を作成します。今年度の第1学年から第3学年は国語・数学や理科、社会、職業を中心としたグループと自立活動を中心としているグループ（パターン①②）、パターン①②に加えて第1・3学年の一部では外国語、情報、家庭科を取り入れたグループ（パターン③）、計3つの個別に応じて教育課程を編成しています。

音楽、美術、保健体育、職業は、学習到達度や実態に応じて学部全体で学習集団を編成しています。それぞれの学習集団を大切にしながらも個別の教育的ニーズに可能な限り対応するように取り組んでいます。

□自立活動の指導

自立活動の指導では、自立活動教諭を中心に自立活動実態把握図を一人一人の障がいの状況等に応じて複数人で検討し、6区分27項目の内容を指導の効果が上がるように選定し、それらを相互に関連させることで、心身の調和的発達の基盤を培うための具体的な指導内容を設定しています。

- * 登校時間 9:00 (月～金)
- * 下校時間 14:10 (月・水・金)
/ 15:05 (火・木※月)

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

□福祉的就労（就労継続支援B型/GH/生活介護/施設入所/在宅）～8名

学校Webページ

